

まちのできごと

新たな意見交換の場として

まちづくりミーティング開催

12月19日、町主催の「まちづくりミーティングふじさと」が開発センターにおいて開催され、町民や役場職員など49名が参加しました。

この日は、佐々木町長のあいさつに続き、町担当課から移住定住や高齢者除排雪事業、学校再編など、重点的に取り組んでいる施策を説明したほか、町議会による町民会議で出された要望事項に対する回答が示されました。

続いて、町の人口予測や目標、それに対する取組などの情報が提示され「これから町に住み続けるために必要なこと」をテーマに、6つの班に分かれ意見交換を行いました。



町にあったらいいモノ/コト/場所について語り合いました

まちづくりミーティングは、平成20年度まで開催されていた町政座談会に変わる、新しいスタイルの意見交換の場として企画され、来年度以降も開催する予定となっています。

死亡事故ゼロ継続に向け

交通指導隊出隊式

藤里町交通指導隊（松岡俊男隊長・6名）の出隊式が1月4日、役場前において行われました。服装点検、人員報告に続き、佐々木町長より「1月28日は、一つの目標としていた交通死亡事故ゼロ6千日を迎えることとなります。今後6千日、7千日とますます伸ばしていけるよう、無事故無違反で、町民が安全・安心に暮らせる町となるよう尽力をお願いします。」と日頃の活動に対し敬意を表するとともに今後の活動に激励が送られました。



安全・安心な町の実現を誓いました

無火災への願い新たに

藤里町消防出初式

1月4日、藤里町消防団（小山初美団長・113名）による平成30年消防出初式が行われました。



雪の中を分列行進

ラッパ隊の演奏に合わせ、役場前通りで分列行進を披露した一行は、続く式典に参加。佐々木町長が「町の火災については、昨年7月、建物火災が発生しましたが、それ以降無火災であり、今後も継続したいものと願っております。消防団員の皆様には日夜、火災に対する予防活動や有事の際の迅速な対応などたゆまぬ努力をいただいておりますが、住民の防火意識の高揚を図るため、一層のご協力をお願いします。」と式辞を述べ、小山団長が「我々消防人は、それぞれの地域にあつて強固な団結のもと、勇猛果敢な消防精神を養い、あらゆる災害から住民の生命財産を守る任務があります。器具・器材の点検、整備を怠ることなく、有事の際には、住民の生命と財産、安全を守るため一層の努力を望むものです。」と無火災実現の願いを込め訓示をしました。

その後、長年にわたり消防活動等にご尽力された方々への表彰状、感謝状の贈呈が行われました。

インフルエンザ予防①》「厚生労働省ホームページより」

厚生労働省HPに記載されているインフルエンザに有効とされる予防法は以下の6つ

- ①流行前のワクチン接種
- ②飛沫感染対策としての喉エチケット
- ③外出後の手洗い等
- ④適度な湿度の保持
- ⑤十分な休養とバランスの取れた栄養摂取
- ⑥人混みや繁華街への外出を避ける

※厚生労働省「インフルエンザにかからないためにはどうすればよいですか?」より